



は せ がわ ゆき こ
長谷川 幸子

に ほん きょうさん どう つ し ぎ だん
日本共産党津市議団

子ども医療費窓口無料の早期実施を

問 安心して子どもを産み育てることのできる社会への第一歩として、窓口無料化を要求し続けてきた。津市は国のペナルティ（国保の減額調整措置）を理由に実施してこなかったが、国は平成30年4月施行で未就学児のみペナルティの廃止を決めた。今後、鈴鹿市・四日市市・伊賀市・亀山市で実施の意向であり、津市でも子ども医療費窓口無料の早期実施を求める。

答 国のペナルティが廃止されることにより、やらない理由が一つなくなったのは確かである。現在、各市町でこれからどのように窓口無料化を進めていくのかについて、検討が始まっている。請求方法に係る技術的な問題、窓口で無料とする医療費の範囲、急激な医療費の増加を防ぐための適正受診を市民へお願いしていくこと、各医療機関との関係など、やらなければならないことが、幾つかあるので、そういうことをきちんとやるようにした上で、できればなるべく早くやりたいと考えている。



●その他の質疑・質問●

- 高齢者外出支援事業について
 - 高齢者の外出支援と言いながら「マイナンバーカード」を取得しなければ、この制度を受けられないのは不公平ではないか
 - 年間2,000円の助成はあまりにも少なく外出を応援するものになっていないのではないか
- 学校給食の保護者負担軽減を
- 大型ごみ・粗大ごみの回収制度の導入を など



▲安心して医療が受けられるよう窓口無料に



い どう やす お
伊藤 康雄

しん わ かい
津和会

伊勢湾の小女子漁禁漁に対する支援を

問 伊勢湾の小女子漁の2年連続の禁漁が決定した。漁師にとっては死活問題で、三重県知事は「漁業者の落胆の声は聞いている。県として対応、支援ができるのか、また全国的な状況ならば国への働きかけも含め議論させる」と答えている。

津市の水産業においても例年漁獲量も多く収入の大きな柱となっている小女子漁の禁漁に対する支援策はあるのか。

答 小女子は津市自慢の農林水産物、津ぶっこ13品の一つで、津市の水産業にとって重要な資源である。小女子漁が再開されるまでは、今後当地において水揚げが期待されるハマグリ、アオヤギ、バイガイなどの採貝漁やアオサノリの養殖などの新たな漁により、収入確保が図られるよう漁業者の皆様と一層連携の上、つくり、育て、とる漁業を推進していく。道の駅津かわげなどの産直施設で漁業者が行う直販事業などの販路拡大による収入確保につなげる取り組みへの支援も行っていく。また、漁業は所得変動が大きく、不漁が続くと経営に重大な影響を及ぼしかねないため、漁業経営に対するセーフティネットの漁獲共済制度を推奨し経営の安定化を促進していく。

●その他の質疑・質問●

- 議案第10号 津市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部の改正について
- 議案第13号 津市火災予防条例の一部の改正について
- 看護大学の北側の土地開発についての考えは
- 津市のプレミアムフライデーに対する考えは
- 漁業組合の合併に対する進捗^{しんちよく}は など



▲2年連続禁漁となった小女子漁